

【活動事例発表 I】

学校名 上溝高等学校PTA

テーマ 『絆KIZUNA…家庭から学校、地域連携へ
～繋がりを大切に学校の垣根を越える上溝六校会～』

上溝高等学校は、明治44（1911）年鳩川農業学校として開校し、平成23（2011）年に百周年を迎えて今日に至る伝統校です。

PTA活動は、学年、成人、交通、広報、厚生の各委員会と本部で行っています。学校行事の体育祭では本部がドリンクサービスを、文化祭では各委員会が協力して盛り上げています。委員会の活動として、学年委員会が保護者向け大学見学会を実施しています。また、成人委員会は講習会やバスツアーの企画・実施、交通委員会の自転車点検や広報委員会の広報紙発行など、他校同様の活動を行っているほか、厚生委員会は特別養護老人ホームでのボランティア活動なども行っています。この地域との関係は、十年以上続く取り組みでもあります。

この地域には「上溝六校会」というものがあります。これは相模原市上溝地区の小・中・高の六校、具体的には上溝小学校、上溝南小学校、上溝中学校、上溝南中学校、上溝南高等学校に上溝高等学

校が加わる各校PTAから成る組織です。1日のうちで子どもたちが学校に滞在している時間は結構長くなりますが、当然のことながら学校にいないときに災害が起こるかもしれません。また、登下校中の安全は、学校に通う児童・生徒の誰にでも保障されなくてはならず、どの保護者にとっても心配の種です。このようなとき、1つの学校だけでなく地域全体が連携して協力しなければ安心は得られないと考え、結成に至りました。平成27（2015）年から活動を始めて、これまでに意見交換だけでなく、スマートフォンの適切な利用を促す講座を開いたり、交通マナーの啓発を目的にした見守り活動を行ったりしています。今回地域協議会大会でこのことが評価され表彰されました。

ステージではパフォーマンスを交えて発表し、小・中・高の区別なく、地域との絆を大切にしていることが窺えました。

<上溝高等学校PTA>



<城山高等学校PTA>

